
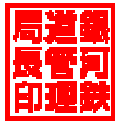



		銀河鉄道警備局本部			
列車運転事故障害報告書		No.015			
発生日 (テレビ放送日)	1979年(昭和54年)11月1日	承認	本社印	管理局長印	警備局長印
完了日 (テレビ放送日)	1979年(昭和54年)11月8日				
登場話タイトル	第51話 透明海のアルテミス(前編) 第52話 透明海のアルテミス(後編)				
区間	マンモスの墓場 ～ 鏡の星				
種別	救援・(事故)・列車妨害・その他()				
列車運転事故障害報告					
1 発生状況	<p>・進行軌道上に、正体不明の障害物があるとのことで、999号は緊急停止。</p> <p>・保線区武装指令部、鉄道警備局が障害物に次元波動ミサイルを発射、命中。</p> <p>・アマーバ状生命体が999号の進行軌道上に、「お母さんがいる」とコース変更を要請。</p> <p>・999号機関車は、「コース変更の必要を認めず。銀河鉄道の空間軌道は絶対だ。決定に変更はない。」と要請を却下。</p> <p>・999号は、前方にある障害物を避けきれず、衝突してしまう。自力での脱出不可能。</p>				
2 指令内容	<p>機関車:「前方に反応有り。」「重力波キャッチ、汽笛最大出力!」「回避不可能、重力ブレーキ不能、衝突します!」</p> <p>機関車:「緊急事態発生!自力脱出不可能、破滅です!」</p> <p>警備局:「こちら鉄道警備局。空間軌道上の障害物は、その正体を確認できない。」</p> <p>管理局:「こちら管理局。しかし、999の遭難地点に強力な非常に強力な生命反応がある。反応は次元振動を伴い、記録上、どの生命体にも属さない新しいタイプのものだ。999を救出するには、もっと強力な破壊武器が必要かも知れない。」</p> <p>管理局:「ダメだ。理由のはっきりしないことで、一度決めたことを簡単に覆すことは出来ない。」</p> <p>車掌:「あの今、宇宙船が突っ込んできたんです。調査のための時間を下さい。お願いします。」</p> <p>管理局:「それでは10分間だけだ。10分間だけ振動波の発射を遅らせる。ただし、10分間経ったら自動的に発射する。999を救うためにやむを得ない。」</p> <p>管理局:「999号沈下25%。振動波発射5分前。発射装置点検開始。」</p> <p>管理局:「999号沈下30%。振動波発射1分前。」</p> <p>管理局:「999号沈下32%。障害物の動きが止まった。脈動が安定して止まったぞ。チャンスだ!振動波発射用意!」</p> <p>管理局:「秒読み開始。21……0。振動波発射!障害物到着まで約3分。」</p> <p>管理局:「障害物到着まであと2分。」</p> <p>管理局:「振動波到着まであと30秒。」</p>				
3 完了報告	・振動波命中により、999号は脱出成功。不定形惑星は破壊される。				
4 補足事項					
銀河鉄道株式会社地球本社 銀河鉄道警備局 様式01					